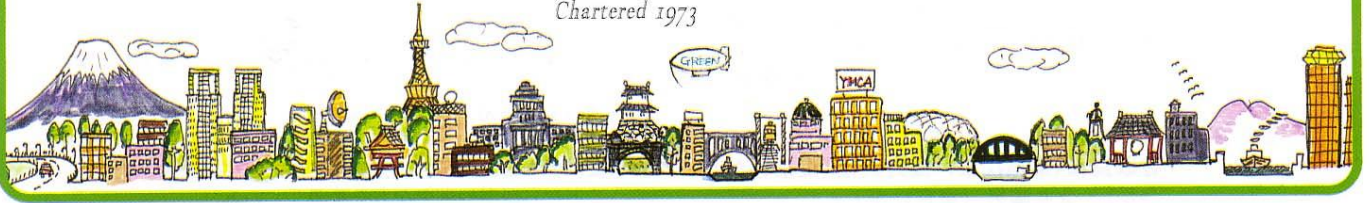




東京グリーン

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内

Chartered 1973



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.1 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みづき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

1月 新年、初めに言葉ありき

初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった。(ヨハネによる福音書 1章 1節)

<初めに、神は言葉を創造された。その言葉を通じて、イエスは神の意志を述べ伝えて下さった。>

2024年1月 新年例会

新年のご挨拶 樋口 順英

日時:2024年1月17日(水) 18:30～20:00

場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

★受付:青木メン、進行:樋口メン

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
お食事(祝い酒あり)	
・「新年の抱負を大いに語りあう」	各メンバー
・24/25年度役員選考について	柿沼 メン
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	

佐野 守、根本 幸子、樋口 順英各メン

閉会点鐘 樋口 会長

★ご出席の方は、1/15迄に青木メンまでご連絡下さい

【例会出席率】 在籍:15名 12月出席率9/13 69%

出席:12月 (メン9名、メネット0名) 計9名

【ニコニコ】 ¥6,000

明けましておめでとうございます。

皆さまの心身の健康とご多幸をお祈りもうしあげます。能登半島の大地震、ゴザ、ウクライナの戦火など、心の晴れない日々が続く中でのお正月になりました。

この1年、国内外の多くのご不幸な方々の未来のために、自分に何ができるか模索しようと思います。

昨年の私のワイズ生活は、年初のクラブ創立50周年記念例会の準備にはじまり、年末には在京新年会の企画など数多くのイベントがあり、充実していたとともに、勉強することの多い1年でもあったように思います。

そのなかで学んだことは、「リスペクトすることの大切さ」でした。旧年の皆様のご指導に感謝申し上げます。

さて今年「甲辰(きのえたつ)」の年は、いままでの努力が実る、縁起の良い年であると言われております。

きっと明るくよい年になると信じて毎日を過ごしたいと思っております。

最近年を重ね、物忘れとともに、怒りっぽくなったようで、さらにご迷惑をおかけしていると思われまます。

今年は、メモをしっかりととるとともに、アンガーマネジメントを身に着けたいと思っております。一日々是勉強—引続きご指導、ご鞭撻、よろしく願いいたします。

◆2023年12月クリスマス例会報告

日時：2023年12月20日(水) 17:00～20:00

場所：すなっく「華(はな)」(江東区大島4-2-5)

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、西澤、村杉、西本夫妻、
樋口各メン

▲村杉メン歓迎、クリスマス例会

～村杉メン、ようこそいらっしゃいました。

これからどうぞよろしくお願ひいたします。～

今回の例会場所は江東区大島にある、西本(晃)メン経営の Snackbar で行いました。総勢9名、手製の料理の数々に舌鼓し、和気あいあいと楽しい時間を共有しました。

当日は年末の平日のため、現役の諸氏には出席が叶わなかった方々が多く出席率はやや低調気味。また、出席者は、風邪でのどが痛い人など、大きな声が出ない人が大半で、当クラブとしては珍しく、静かなクリスマス例会となりました。(樋口 記)

◆2023年12月第2例会報告

日時：2023年12月13日(水) 18:00～20:00

場所：千代田区和泉橋区民館4F-C

出席者：青木、柿沼、佐野、西澤、樋口、目黒各メン

1. 2024年在京ワイズ合同新年会打合せ
2. ワイズ、プロボリスト作成のお願い(人材DB)
3. 今後の卓話予定

① 2月21日(水)18:30～20:30 東陽町センター
卓題「ビートルズとブリティッシュ・イノベーション」

② 3月21日(木)18:30～20:30 東陽町センター
卓題「日本語体験発表会」(にほんご学院)
(3月20日(水)は祝日のため翌21日に変更)

③ 4月17日(水)18:30～20:30 東陽町センター
卓題「昆虫の話」



千葉県少年自然の家
所長 佐藤 健さん
・昆虫採集家列伝、
・生物の擬態、
・バイオミメティクス

◆今後の主なスケジュール

- 1月12日(金) 14:00～ 在京ワイズ合同新年会準備
1月13日(土) 在京ワイズ合同新年会(東陽町)13:30～
1月17日(水) 1月新年例会(東陽町)18:30～
2月14日(水) 2月第二例会(場所未定)
2月21日(水) 2月例会(東陽町)18:30～

◆12月クリスマスオープンハウス報告

日時：2023年12月10日(日) 9:00～15:00

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、小仁、佐野、樋口各メン

▲東陽町クリスマスオープンハウスがにぎやかに開催されました。(関連記事:YMCA コーナー1項)我がクラブは例年通り焼きフランクフルトを担当、にほんご学院からの助っ人も参加し200本完売しました!



【写真左から小仁、助人、佐野、柿沼、青木、樋口各メン】

▲ラッフル券当選された方がいらっしゃいます!!

2024年1月31日(水)までに賞品の受け取りをお願いいたします。(樋口 記)

◆新倉健司メンご逝去



浅草橋「船宿三浦屋」主人、新倉健司メンにおかれましては、10月24日ご逝去されました。享年61歳

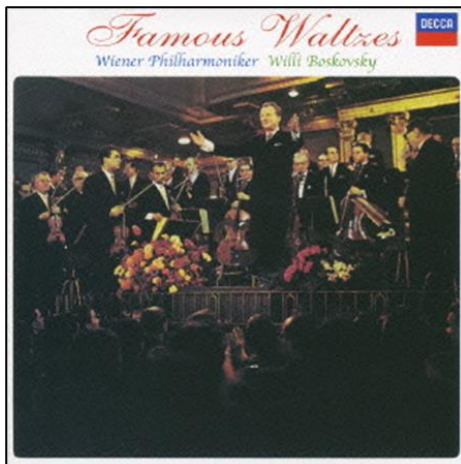
「神田川船の会」催行にあたり、配船、運航にご尽力いただきました。

「神田川船の会」はじめ「学校の船上学習」等の催行にあたっては、当日に荒天が予想される時には、プロとしての見地から、かなり事前に安全と乗船者の健康を加味して船の催行は中止すべきとの提言あり、後日、乗船者から感謝された事が、何回かありました。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

(樋口、柿沼 記)

蓄音機の思い出「ウィーンの森の物語」



ヨハン・シュトラウスII世作曲(1825~1899)

ワルツ「ウィーンの森の物語」作品 325(1868)

指揮:ウィリー・ボスコフスキー(1909-1991)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(1960年ごろ録音)

ツイター:アントン・カラス(1906-1885)

わたしは3歳ごろ、蓄音機をひとりで操作出来ました。コンセントを差し込んで電源を入れ、スイッチを右に回してONし、ブーンという真空管の音が聞こえてきて生暖かくなるまでしばらく待ちます。次にレコードを茶色い紙袋から取り出して、ターンテーブルに乗せます。そして金属針の着いたアームを持ち上げると回転し、レコードの端っこにウマク針を乗せると音がでます。曲が鳴りだすと、母がびっくりして飛んできたそうです。

当時、家には浪曲、歌謡曲、軍歌など様々なジャンルの78回転SPレコードがありました。なぜか私のお気に入りにはスコフスキー指揮フィラデルフィア管弦楽団による円舞曲「ウィーンの森の物語」でした。

ウィンナワルツは、19世紀初めのウィーン会議が発端となり流行しました。そのリズムは通常のワルツとは違い、3拍が均等な長さではなく、2拍目がやや早めに出ます。友人のダンサーによると、このリズムは踊る人にとっては理にかなっているんだそうです。

シュトラウス一家のウィンナワルツの聴きどころは、結構長い前奏部分だと思います。ボールの喧騒の中で彼はつねにここで「主張」をします。

推奨CDは、一世を風靡したウィリー・ボスコフスキー指揮ウィーンフィル。独特の柔らかい音色と息の合ったリズムはなんとも気分がいいものです。本CDでの前奏では、映画「第三の男」のアントン・カラスが奏でるツイターのソロが聴けるのが魅力です。

後年、石畳の旧市街を歩き、ホテルの目の前のウィーン市立公園入口近くの、J. シュトラウスII世像の前で、蓄音機を思い出し感慨にふけたものでした。(樋口 記)

- 11月23日、山手コミュニティーセンターで「やまてのまつり」が開催され、約400人が来館した。
また同日、南コミュニティーセンターで開催した「YMCAあきまつり～みんなでみなみ～」は、模擬店、ゲームコーナー、ミニバザーなどでにぎわった。
12月10日に東陽町コミュニティーセンターで開催した「東陽町クリスマスオープンハウス」は、昨年より規模を拡大し、バザー、模擬店、起震車体験、ゴスペルコンサート他、多くのプログラムが展開された。
それぞれ、会員、ワイズメン、ユースボランティアリーダー、学生他、多くの方々にボランティアとしてご協力いただいた他、企業や団体からご寄付やご協賛をいただいた。
各イベントの益金は、地域奉仕活動、国際協力活動、青少年育成等のために用いる。
- 毎年恒例の「クリスマス募金」の受付を開始した。
寄せられた募金は、ウクライナ支援、国際協力募金、障がい児プログラム支援、フレンドシップファンドとして用いる。
また Amazon の協力により全国 22 のYMCAで実施しているチャリティーキャンペーン「Amazon みんなでサンタクロースプログラム」では、Amazon の「ほしいものリスト」により、「下町子どもダイニング」(子ども食堂)、及び困難を抱えている外国にルーツを持つ子どもたちをサポートするための物品支援を呼びかけている。
- 12月1日、台湾南投YMCAの高齢者メンバー約20名がグランチャ東雲を訪問し、交流プログラムが持たれた。
南投YMCAのメンバーが踊りを、グランチャ東雲のシニア利用者は介護予防運動「KOTO 生き粋体操～水彩音頭編～」を披露した他、通訳等を介して交流を楽しんだ。
- 12月7日、「山中湖センター100周年記念チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、会員、賛助会員、専門学校関係者など 34人が参加した。
益金約20万円は、山中湖センター100周年募金として、子どもたちをキャンプに招待するプロジェクト、プログラム施設の新設、宿泊施設のリノベーションのために用いる。
- 今後の主な行事予定
 - 「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング大会」2月4日(ボウリングサロン・ザ プリンスパークタワー東京)
 - 「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」2月1日～4日(上海)
 - 「ソシアスフォーラム2023」2月17日(山手センター)
講師:佐渡加奈子氏(認定NPO法人カタリバ/東京YMCA評議員)

(クラブ担当主事:柳原)